

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要

三重教区

お待ち受け大会

2022年10月8日(土)

午前 帰敬式 大谷裕 鍵役(新門)執行 会場 桑名別院

午後 記念講演・パネルディスカッション
※帰敬式は7月1日(金)より受付開始

会場 柿安シティホール(桑名市民会館)

講師

高柳正裕氏 学仏道場回光舎舎主

テーマ

南無阿弥陀仏

人と生まれたことの意味をたずねていこう

主催 真宗大谷派 三重教区

開催趣旨

2023年3月に本山において厳修される「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」に向け、今回の慶讃テーマにかけられた思いと、法要をお迎えする意義を確認するため、「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要三重教区お待ち受け大会」を開催します。

この大会当日の事業は一つの象徴であって、それのみが「お待ち受け」ではありません。そのことを機縁として、一人一人の「私にとっての宗祖親鸞聖人御誕生、立教開宗の意味を聞き開いていく歩み」につながるものが大切です。

具体的には、丁寧に聞き合い・語り合い・学び合う、そういう自主的な話し合いのできる場があちこちに生まれること。「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」のテーマを手掛かりに「これは一体どういうことだろうか」「私はこう思う、あなたはどうですか」「私もわかりませんから一緒に聞いていきませんか」とほんの数人単位であっても、自主的に実のある座談が積み重ねられていくこと。そういう場が生まれていくことを「三重教区お待ち受け大会」の願いといたします。

帰敬式(ききょうしき)とは

帰敬式は、一般に「おかみそり」とも言われ、仏さまの教えを^よ拠り所として生きるものになることを誓う大切な儀式です。実際に髪を剃ることはありませんが、儀式執行者よりかみそりが三度頭に当てられる「剃刀の儀」が行われます。

受式後に、仏弟子としての名前である「法名」(釋^{ほうみょう}〇〇あるいは釋尼^{しやくに}〇〇)が授与されます。「法名」は「亡くなってからいただくもの」と思われる方もありますが、本当は「南無阿弥陀仏の教えにみちびかれて、今後の人生を歩む者」となることを決意する新たな^{なの}名告り(名前)です。したがって、生きている「今」受式することに、本来的な意味があります。

宗祖親鸞聖人が明らかにされた教えに自らの人生を問いたずね、真宗門徒として新たな人生を歩み出す「私」が誕生する。この帰敬式が、その「はじめの一步」となることを心より願います。



大谷 裕 鍵役(新門)

日 程

午前の部 9:00～12:00

会場 桑名別院

●帰敬式(定員100名)

所属寺院を通じお申し込みください。

申込期間 7月1日(金)～8月31日(水)

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、日程が中止や変更になる場合は桑名別院ホームページ上でお知らせします。
- 当日はインターネットによるライブ配信を予定しています。
- 当日の参加方法については後日発行のチラシにてお知らせします。



午後の部 13:30～16:30

会場 柿安シティホール(桑名市民会館)

- 勤行
 - 記念講演 講師 高柳 正裕 氏
- パネルディスカッション
パネリスト 中山 郁英 氏
寺田 桃花 氏
コーディネーター
大橋 宏雄 氏

真宗大谷派(東本願寺)

三重教務所・桑名別院

〒511-0073 桑名市北寺町47番地

☎ 0594-21-8000

真宗大谷派三重教区

桑名別院 本統寺ホームページ

<http://mie-betsuin.com/>

